

長男の楓真君は動物が大好き。



同世代の畜産農家と切磋琢磨し、黒毛和牛の繁殖と肥育に取り組む天野浩樹さん。3人の子供達はいいたて希望の里学園とまていの里のこども園に通学・通園しています。(令和元年移住／大久保・外内)



民家を改装し音楽スタジオ「KUMA SOUND HOUSE」と「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」を立ち上げた「くまさん」こと佐藤祐喜さん。音楽を通じた交流が広がり、仲間と共に音楽イベントも開催しています。(令和元年移住／上飯樋)



仙台市の企業に勤務し、被災12市町村の事業を担当している山本耀司さん。仕事で通ううちに飯館への移住を決意。テレワークで仕事を続けながら、村で友人・知人の輪を広げ親交を深めています。(令和5年移住／深谷)



美術家の清水直土(なおと)さん。石彫に打ち込める場所を求めて移住し、森林組合に勤務しながら制作活動が続けられています。移住後に結婚し、夫婦で飯館暮らしを楽しんでいます。(令和4年移住／草野)



アコースティックギターで弾き語りをする木村公一さん。音楽づくりに向き合うために、公務員を辞めて移住しました。移住先は、候補地を訪ね歩いて決めたそう。週に数日「3ど」に勤務しています。(令和6年移住／比曽)

移り住んだきっかけも なりわいも暮らしも... 十人十色の飯館暮らし

全村避難を経験し、多くのものを失った飯館村へ、新しい可能性を見出し、あるいは豊かな自然や人々の温かさに惹かれて移り住み、村民となった皆さん。なりわいやライフワークも多様で、周囲の人とつながりを深めながら、それぞれの暮らしを紡いでいます。



会社員時代に農業の魅力に触れ「飯館で花農家になろう」と移住を決めた小原健太さんと妻の貴子さん。花農家として成長する傍ら、交流の輪を広げ、飯館ライフを満喫しています。(令和2年移住／上飯樋)

飯館村に移り住んだ皆さんは、それぞれにこの村ならではのよさを感じて暮らしています。他の地域から移り住んだからこそ分かる、この村の個性や魅力を教えてくれる存在でもあります。

飯館村はそもそも古くから開拓移民を数多く受け入れてきた村で、パイタリティーある個性豊かな人々が、互いを思いやり助け合って暮らしてきました。移り住んできた皆さんも、まさにその見えないバトンを受け継いでいるように感じます。

ここで生まれ育った皆さんも、新たに村民となった皆さんも、ぜひ一緒に、飯館村をより魅力的に輝かせていきましょう。新しい年が全ての皆さんにとって、ますます素敵な年になりますように。



「飯館村移住・定住ポータルサイト」に移住をした方々のインタビューを掲載しています。



看護師として避難中の村民に出会い、その人間性に惹かれ「飯館に恋をした」と言う田中久美子さん。「村を少しでも元気にしたい」と移り住み、ベーグル専門店「村カフェ753」を開店しました。(令和元年移住／深谷)



ジャザーさん、ジョイさん夫婦はフィリピンで大学を卒業後に来日し、福島市で出会いました。共にハヤシ製作所に勤務し、長男の海斗君はまていの里のこども園に通っています。(平成30年移住／大久保・外内)



二瓶貴大さんは、刃物の製造・修理を行う「刃物の館やすらぎ工房(二瓶刃物)」の4代目。刃物工場の適地を求めて飯館村へ移住しました。妻の麻美さんは地域おこし協力隊としても活躍しました。(令和元年移住／大倉)